

# 三重県小児セラピー研究会第3回

日時 2017年12月3日(日) 13:30~16:40(13:00開場)

場所 三重県立子ども心身発達医療センター

参加人数 117名

共催 三重県小児科医会、三重県医師会、三重県理学療法士会、三重県作業療法士会、三重県言語聴覚士会、  
三重県訪問リハビリテーション協議会、三重県訪問看護ステーション連絡協議会、  
三重県立子ども心身発達医療センター、三重大学医学部附属病院小児トータルケアセンター

後援 三重県

総合司会挨拶 13:30~13:35

出口貴章(でぐち たかあき)

松阪市子ども発達総合支援センター



開会の辞 13:35~13:40

二井 英二(にい えいじ)

鈴鹿医療科学大学 保健衛生学部理学療法学科 教授



ミニレクチャー 13:40~14:25 **地域における小児外来リハビリテーション**

~つくろう！地域で支えるシステムを~

演者:伊藤 卓也(いとう たくや)

主体会病院 総合リハビリテーションセンター



**座長:寺島 秀幸**(てらしま ひでゆき)

訪問看護リハビリステーション桜



**事例検討 14:25~14:55 早産核黄疸によるアトーゼ型脳性麻痺児の療育**

**演者:西村 淑子**(にしむら としこ)

三重県立子ども心身発達医療センター 整形外科・リハビリテーション科



**演者:古川 敦**(ふるかわ あつし)

三重県立子ども心身発達医療センター 地域支援課



**座長:新開 崇史**(しんかい たかふみ)

三重病院 リハビリテーション科



基調講演 15:05～16:35 **病態からみた脳性麻痺の分類と治療**

演者: **荒井 洋**(あらい ひろし)

ボハース記念病院院長 小児神経科



座長: **岩本 彰太郎**(いわもと しょうたろう)

三重大学医学部附属病院小児トータルケアセンターセンター長



閉会の辞 16:35～16:40

**高桑 英治**(たかくわ えいじ) 三重県言語聴覚士会 会長



～第3回三重県小児セラピー研究会を終えて～

事務局 訪問看護リハビリステーション桜 寺島 秀幸

「脳性麻痺の診断と治療」というテーマにて、第3回三重県小児セラピー研究会が開催されました。会場の都合から100名という定員を設けておりましたが、最終的には117名と過去2回と同様にたくさんの方にご参加いただきました。

内容も小児または脳性麻痺をキーワードにミニレクチャー・事例検討・基調講演と現在小児セラピーに深く関わっている方からこれから取り組む方まで幅広い方に興味持っていただける内容となりました。

当研究会に参加する中で今後取り組みたいと感じる仲間が一人でも増えるように、小児セラピーのことを深く考え理解できるような会を開催し、子供たちの未来の可能性を最大限に引き出せるように取り組んで参ります。ご協力の程宜しくお願い申し上げます。